

学 会 録 事

1. 2024年度第1回持ち回り評議員会

2024年2月3日～2月13日に開催した。【議案1】筑波大学・下田臨海実験センター長，笹倉靖徳氏が応募する共同利用・共同研究拠点「沿岸域生命科学研究拠点」を支持する要望書を日本藻類学会から出すことの可否を審議し，その結果，国内評議員14名のうち12名からの回答があり，回答者全員の賛成により承認された。

2. 2024年度編集委員会・評議員会

2024年3月22日（金）15:00から神戸大学六甲台第二キャンパス理学部Z棟201/202において，英文誌および和文誌の合同編集委員会を行った。

英文誌については，初めに，ワイリー社のAmanda Li氏から2023年の出版状況等をまとめた年次報告についての説明があった。次に，2024年からの英文誌編集長である長里千香子氏・平川泰久氏から「Phycological Research」の2023年および2024年の編集状況および投稿状況に関する報告があった。2023年については，71巻が総頁数217頁，掲載論文数21編であったこと，2024年は，72巻1号に6編が掲載され，2号に7編の掲載予定で，3号以降の受理論文数は3月18日現在4編であることが報告された。編集にかかった日数，投稿者の国名，2022年までのインパクトファクターの推移等が報告された。副編集長の新任と退任について報告があった。72巻1号より，紙質，印刷方法が変更になっていることについて説明があった。

和文誌については，岩滝光儀編集委員長より「藻類」の2023年および2024年の編集状況に関する報告があった。2023年については，71巻に5編の原著論文のほか，第47回大会プログラム，学会録事等が掲載され，総頁数は188頁であったと報告があった。2024年については，72巻の刊行計画と編集方針の説明があった。「藻類」に掲載された論文から論文賞を選ぶことについて，議論を行った。

評議員会は，編集委員会終了後に同会場にて16:30から行われた。2024年度総会に提出する報告事項・審議事項などに関して審議を行った。審議の中で，日本藻類学会学術賞，日本藻類学会研究奨励賞，日本藻類学会論文賞の受賞者について了承を行った。受賞者については，「藻類」本号の「受賞記念特集」を参照されたい。会員全員に電子メールで連絡する体制確立に関して議論を行った。会長および評議員の選挙のウェブ投票の導入について検討することとなった。他の内容に関しては，総会の項を参照されたい。

3. 2024年度総会

2024年3月23日（土）16:30より，神戸大学六甲台第二キャンパス理学部Z棟201/202において行われた。会長から挨拶があり，その後，議事に入った。

<報告事項>

■庶務関係

- (1) 会員状況（2024年2月の雑誌発送会員）：名誉会員4名，普通会員478（国内・一般382名，国内・学生73名，外国23名），団体会員41，賛助会員3（会費を2年滞納した会員への雑誌発送を停止している。会則が改正され（2021年1月1日施行），会費を3年以上滞納したとき会員資格を失うこととなっている。）
- (2) 2023年度事業報告：1) 日本藻類学会第47回大会—オンライン北海道・2023—の開催（2023年3月20日～22日）：1日目は藻類学ワークショップ，2日目は口頭発表（2会場），ポスター発表，公開シンポジウムが行われ，3日目は口頭発表（2会場），ポスター発表（高校生含む），授賞式（学術賞，特別賞，研究奨励賞，論文賞，学生発表賞），総会，懇親会が行われた。2) 日本藻類学会第47回大会 藻類学ワークショップの開催：「メタバコーディング法概説：夢の技術の夢のない現実の話」田辺晶史氏（東北大学大学院生命科学研究科），「microeukaryoteメタバコーディング解析の現状と課題」長井敏氏（国立研究開発法人水産研究・教育機構，水産技術研究所）（2023年3月20日13:00～17:20，オンラインZoom）。3) 日本藻類学会第47回大会企画シンポジウム「誰でも学べる藻類学」の開催，講演者等：堀口健雄氏（北海道大学），山下翔大氏（国立遺伝学研究所），加藤亜記氏（広島大学），アルガムービー鑑賞会，ゆるふわ生物学（2023年3月21日14:30～17:45，オンラインZoom，YouTube）。4) 学生発表賞の実施：口頭発表（微細藻類の部，大型藻類の部），ポスター発表（微細藻類の部，大型藻類の部）。2019年第3回持ち回り評議員会で決定された学生発表賞選考実施要領に従い実施した。5) 和文誌「藻類」71巻1～3号の発行（3，7，11月発行）。6) 英文誌「Phycological Research」71巻1～4号の発行（1，4，7，10月発行）。7) 評議員会：持ち回り評議員会の実施（7回），2023年度評議員会（2023年3月15日（水）13:30～15:30，Zoom会議，2023年度総会に提出する報告事項・審議事項などに関して審議）。8) 2023年度総会の開催：2023年3月22日（水）17:15～18:30，オンライン（Zoom会議）。9) 日本藻類学会特別賞・岡村賞の授与（2023年3月授与）と募集，選考（2024年3月授与）。10) 日本藻類学会学術賞・山田賞の授与（2023年3月授与）と募集，選考（2024年3月授与）。11) 第19回日本藻類学会研究奨励賞の選考，授与と第20回日本藻類学会研究奨励賞の募集。12) 第26回日本藻類学会論文賞の授与と第27回日本藻類学会論文賞の選考。13) 藻類和名の整理に向けた「藻類和名のワーキンググループ」の活動。14) 日本藻類学会70周年記念事業。15) 会計監事（2023年，2024年）の選出：沖野龍文氏（北海道大学）および堀之内祐介氏（北海道大学）。16) AlgaeBaseのスポンサーと

してのサポート。17) 自然史学会連合の事業に参加。18) 日本分類学会連合の事業に参加。19) 水産・海洋科学研究連絡協議会の事業に参加。20) 和文誌「藻類」の学会HP上での即時公開。21) 学会HPによる情報配信。22) 同報メールによる情報配信。23) 第23回マリンバイオテクノロジー学会大会(2023年5月27日~28日,金沢)の協賛。24)「第20回国際有害有毒藻類学会(International Conference on Harmful Algae: ICHA2023)」(2023年11月5日~10日,広島)の後援。

■会計関係

- (1) 2023年度会費納入率(2023年12月末日現在), 雑誌発送会員を対象: 普通会員(国内・一般)101%, 普通会員(国内・学生)159%, 外国会員78%, 団体会員68%, 賛助会員100%。
- (2) 一般会計決算等, その他の事項に関しては審議事項を参照されたい。

■編集関係

- (1) 2023年に発行した英文誌「Phycological Research」71巻1~4号は, 総頁数217頁, 掲載論文数21編であった。編集にかかった日数, 投稿者の国名, 受理となった論文の割合, インパクトファクター(IF)の推移等が報告された。論文投稿数が少ないことから, 論文投稿依頼の呼びかけがあった。
- (2) 2023年に発行した和文誌「藻類」71巻1~3号は, 総頁数188頁, 報文10報(原著論文5報, 藻類学最前線4報, 希少種情報1報), 記事15(参加記・開催記, 遊藻子, 雑録, 追悼文), 第47回大会プログラム(オンライン北海道・2023), PR要旨, 学会関連記事(学会賞, 学会録事等)。これらに関連して, 前述の編集委員会の項も参照されたい。

<審議事項>

■会計関係

- (1) 2023年度一般会計決算について報告および審議が行われ, 表1のとおり承認された。
- (2) 2023年度山田幸男博士記念事業基金特別会計決算について報告および審議が行われ, 表2のとおり承認された。
- (3) 2023年度研究奨励賞事業基金特別会計決算について報告および審議が行われ, 表3のとおり承認された。
- (4) 2023年度一般会計決算, 特別会計決算について, 監査報告(会計監事: 沖野龍文氏, 堀之内祐介氏)があった。
- (5) 2024年度一般会計, 山田幸男博士記念事業基金特別会計および研究奨励賞事業基金特別会計の予算は, 表4, 表5および表6のとおり承認された。

■庶務関係

- (1) 2024年度事業計画として以下の事項が承認された。1) 日本藻類学会第48回大会—神戸・2024—の開催(2024年3月22日~24日)。2) 日本藻類学会第48回大会—神戸・2024—での公開シンポジウム「海藻藻場・海藻養殖生態系における炭素フラックスと炭素固定を考える」の開催, オーガナイザー: 田中厚子氏(琉球大学)・佐藤陽一氏(理研食品), 講演者: 伊藤通浩氏(琉球大学・熱

帯生物圏研究センター), 小西照子氏(琉球大学・農学部), 佐藤陽一氏(理研食品株式会社・原料事業部), Gregory N. Nishihara氏(長崎大学海洋未来イノベーション機構・環東シナ海環境資源研究センター), 桑江朝比呂氏(ジャパンプルーエコノミー技術研究組合(JBE), 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所)。

3) 藻類学ワークショップの開催: 第48回大会に合わせて, ワークショップ1「海藻類の採集・観察会」, ワークショップ2「微細藻類の採集・観察会」を開催。4) 日本藻類学会第48回大会学生発表賞の実施: 口頭発表(微細藻類の部, 大型藻類の部), ポスター発表(微細藻類の部, 大型藻類の部)。5) 評議員会(2024年3月22日, 神戸大学六甲台第二キャンパス理学部Z棟)・総会(2024年3月23日, 神戸大学六甲台第二キャンパス理学部Y棟)の開催。6) 和文誌「藻類」72巻1~3号の発行(3, 7, 11月発行)。7) 英文誌「Phycological Research」72巻1~4号の発行(1, 4, 7, 10月発行)。8) 日本藻類学会特別賞・岡村賞の授与(2024年3月), 募集と選考(2025年3月授与)。9) 日本藻類学会学術賞・山田賞の授与(2024年3月), 募集と選考(2025年3月授与)。10) 第20回日本藻類学会研究奨励賞の選考, 授与(2024年3月)と第21回日本藻類学会研究奨励賞の募集と選考(2025年3月授与)。11) 第27回日本藻類学会論文賞の授与(2024年3月)と第28回日本藻類学会論文賞の選考(2025年3月授与)。12) 藻類和名の整理に向けた「藻類和名のワーキンググループ」の活動。13) 日本藻類学会70周年記念事業。14) 会長および評議員(2025年, 2026年)選挙の実施。15) 和文誌「藻類」の学会HP上での即時公開。16) AlgaeBaseのスポンサーとしてのサポート。17) 自然史学会連合の事業に参加。18) 日本分類学会連合の事業に参加。19) 水産・海洋科学研究連絡協議会の事業に参加。20) 学会HPによる情報配信。21) 同報メールによる情報配信。22) The 9th Asian Pacific Phycological Forum (APPF 2024) (April 14–18, Sapporo, Japan) の共催。23) 会長および評議員の選挙のお知らせを電子メールで行い, ウェブ上で投票することの検討。

- (2) 日本藻類学会第49回大会を琉球大学で2025年3月に行うことが承認された。
- (3) その他: 新たな会員枠として, シニア会員(和文誌のみで英文誌は配布されない。会費は一般より低額。)を設けることの提案があり, 評議員会で検討することとした。

4. 学会ウェブサイトによる情報配信と記載内容の更新

2024年2月から5月に掲載・更新した内容は次の通りです。

- ・日本藻類学会第48回大会の開催について
- ・第40回国際生物学賞受賞候補者の推薦について
- ・北海道大学北方生物圏フィールド科学センター特任助教公募情報
- ・熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター准教授または講師公募情報
- ・国際農林水産業研究センター 特別研究員公募情報

表 1. 2023 年度一般会計決算 (2023.1.1-2023.12.31)

収入 (円)			支出 (円)		
会費		4,850,000	和文誌経費		2,147,501
普通 (国内・一般)	3,172,000		英文誌経費		5,420,000
普通 (国内・学生)	280,000		編集費		0
外国会員	198,000			和文誌編集補助費	0
団体会員	1,050,000			英文誌編集補助費	0
賛助会員	150,000		庶務費		223,584
和文誌関係収入		399,085		事務用品費	27,603
定期購読	120,150			会議費	0
バックナンバー	0			通信印刷費	186,981
別刷・超過頁代	211,400			諸雑費	9,000
広告代	60,000		幹事旅費補助		0
著作権許諾料金	7,535		大会補助費		0
英文誌関係収入		2,392,714	自然史学会連合分担金		20,000
超過頁代	0		分類学会連合分担金		10,000
版權還付金	2,392,714		レンタルサーバー代		7,731
受取利息		63	AlgaeBase への寄付		0
その他		0	派遣旅費補助		0
			託児費補助		0
小計		7,641,862	小計		7,828,816
前年度繰越金		11,415,067	次年度繰越金		11,228,113
合計		19,056,929	合計		19,056,929

表 2. 2023 年度山田幸男博士記念事業特別基金会計決算 (2023.1.1-2023.12.31)

収入 (円)		支出 (円)	
前年度繰越金	1,905,047	記念品費	29,700
受取利息	17	各賞用雑費	23,690
		次年度繰越金	1,851,674
合計	1,905,064	合計	1,905,064

表 3. 2023 年度研究奨励賞事業特別基金会計決算 (2023.1.1-2023.12.31)

収入 (円)		支出 (円)	
前年度繰越金	1,340,194	奨励賞賞金	100,000
受取利息	18	振込手数料	770
		次年度繰越金	1,239,442
合計	1,340,212	合計	1,340,212

表 4. 2024 年度一般会計予算 (2024.1.1-2024.12.31)

収入 (円)			支出 (円)		
会費		4,546,400	和文誌経費		2,100,000
普通 (国内・一般)	3,040,800		英文誌経費		5,420,000
普通 (国内・学生)	422,750		編集費		200,000
普通 (外国)	192,850			和文誌編集補助費	100,000
団体会員	800,000			英文誌編集補助費	100,000
賛助会員	90,000		庶務費		330,000
和文誌関係収入		336,250		事務用品費	30,000
定期購読	120,000			会議費	50,000
バックナンバー	5,250			通信印刷費	240,000
別刷・超過頁代	150,000			諸雑費	10,000
広告代	60,000		幹事旅費補助		0
著作権許諾料金	1,000		大会補助費		120,000
英文誌関係収入		2,400,000	自然史学会連合分担金		20,000
超過頁代	50,000		分類学会連合分担金		10,000
版權還付金	2,350,000		レンタルサーバー代		7,500
受取利息		60	AlgaeBase への寄付		100,000
			派遣旅費補助		0
			託児費補助		0
小計		7,282,710	小計		8,307,500
前年度繰越金		11,227,447	次年度繰越金		10,202,657
合計		18,510,157	合計		18,510,157

表 5. 2024 年度山田幸男博士記念事業特別基金会計予算 (2024.1.1-2024.12.31)

収入 (円)		支出 (円)	
受取利息	20	記念品費	15,000
		各賞用雑費	20,000
前年度繰越金	1,905,542	次年度繰越金	1,870,562
合計	1,905,562	合計	1,905,562

表 6. 2024 年度研究奨励賞事業特別基金会計予算 (2024.1.1-2024.12.31)

収入 (円)		支出 (円)	
受取利息	10	奨励賞賞金	100,000
		振込手数料	1,000
前年度繰越金	1,239,442	次年度繰越金	1,138,452
合計	1,239,452	合計	1,239,452